

受 験 番 号		氏 名	
------------	--	-----	--

高度実践公衆衛生看護コース 解答用紙

問題 1 * 出題の意図: 大学院で公衆衛生看護学を学ぶ上で必要な、公衆衛生学および看護学の基礎的な知識を問う。

問 1

2	3
---	---

問 2

3

問 3

2	4
---	---

問 4

2	4
---	---

問 5

3

問 6

2

問 7

3

受 験 番 号		氏 名	
------------	--	-----	--

高度実践公衆衛生看護コース 解答用紙

問題 1（前ページからの続き 2/2）



※記入しないこと

問 8

2	3
---	---

問 9

1	4
---	---

問 10

2	5
---	---

問 11

1)	2)	3)	4)
二重拘束〈または ダブルバインド〉	就労移行支援	生活技能訓練〈SST〉	自己認識
5)	6)	7)	8)
22	母子相互	エジンバラ	1.5

受 験 番 号		氏 名	
------------	--	-----	--

高度実践公衆衛生看護コース 解答用紙

問題 2 * 出題の意図: 大学院で公衆衛生看護学として対人支援の技術を学ぶ上で、基本的な看護としてのアセスメント能力と介入・支援に必要な知識・技術を問う。

問 1 解答のポイント: 近時記憶障害について問題文を読んで説明。

解答例

近時記憶障害では、曜日や時間など最近の日時や予定を覚えることができない。認知機能障害(中核症状)の 1 つである。

問 2 解答のポイント: 日常生活自立支援事業について説明。

解答例

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が不十分な人が地域で自立した生活が送れるよう、契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理を行うものである。

問 3 解答のポイント: 「薬を飲んだらカレンダーに丸を付けてみませんか」

解答例

〇〇教室などはカレンダーに書いて参加できており、薬を飲んだらカレンダーに丸をつけ、自分で毎日チェックすることで確実に内服できる。薬の飲み忘れがないようにする工夫として、服薬ケースや服薬カレンダーなどを使用しても良い。認知機能のレベルや好みに応じて利用しやすい方法を本人と話し合う姿勢が大切である

問 4 解答のポイント: 症状が日常生活に与える影響

解答例

入院生活を送るにあたり、どのような症状がありそれが日常生活にどのような影響を与えているのかを把握することを最も優先する。看護師は患者の生命維持や QOL に関する情報を収集することが重要である。

問 5 解答のポイント: 家族心理教育では、Bさんの症状と対応について学ぶことができる。

解答例

精神医療における心理教育とは、同じ悩みを抱える患者・家族や専門家とともに、精神疾患のメカニズムと経過等、治療薬の作用と副作用、地域資源などの情報を共有し合うことで疾病の回復や再発防止につなげるプログラムのことである。

受 験 番 号		氏 名	
------------	--	-----	--

高度実践公衆衛生看護コース 解答用紙

問 6 解答のポイント:精神科デイケア

解答例

社会生活機能の回復を目的として、レクリエーションや心理教育などのプログラムに従ってグループごとに治療するのが精神科デイケアである。Bさんは手先を動かす作業療法プログラムのある精神科デイケアの利用が向いていると考えられる。

問題 3

- * 出題の意図:将来保健師として活動する上で、社会の状況を常に把握し、問題意識を持つことは重要である。小論文により、現状からどのように課題を抽出し、課題を解決する方法を見出すことができるかを問う。さらに保健師として担うべき役割の記述により、保健師としての志向性も評価する。小論文としての体裁や論理性・一貫性についても評価する。